

ベトナムWGの成果から水道公論座談会企画に展開

最近の状況

NEWS LETTER第12号をお届けします。新型コロナ問題の日々の状況にはまだ注意が必要ですが、米大統領選挙、日本の首相交代など世界政治の動きにも目が離せなくなっているこの頃です。こうした中、海外水ビジネス研究会は、WG活動や水道公論の記事掲載の準備等、着々と活動を進めています。

ベトナムWG関係の水道公論掲載計画の一部変更についてのお知らせ

ベトナムWGの成果については、水道公論7月号から9月号までの3回分の発表を踏まえて10月号に「まとめ」的なものを掲載して完結することになっていました。しかし、その後、安間匡明さん及び田路明宏さん（神鋼ソリューション）からの関連寄稿が加わり、「ベトナム座談会」を2021年2月号に掲載することになりました。また、7月の定例会及び8月の準定例会においても、ベトナムにおける水ビジネスについて、突込んだ意見交換が行われました。こうした動きを踏まえ、「まとめ」に水道公論2月号の「ベトナム座談会」の記事を先行させることになりました。座談会は11月16日に開催されますので、当初10月号掲載予定の「ベトナム④」は、座談会の後に取り扱いを決定することになります。これらの対応によって、ベトナムにおける水ビジネスに関して、より幅の広い視点からのとりまとめが行われることになります。どうぞ、ご期待ください。

水道公論9月号の予定

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、ベトナムワーキンググループ報告（第3回）「ベトナムで水ビジネスを推進する難しさはどのあたりにあるのか」を、「海外水ビジネスの眼」では、「注目すべき気候関連財務諸表開示(TCFD)について」を掲載します。



写真は、里芋の葉

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が9月11日（金）20時から20時40分
- 定例会が9月17日（木）12時から14時。講師は東京ガスの桜井さんで、他の公益事業の動向に関する勉強会（都市ガス編）。会場は、7月と同じ神田三崎町の会議室。ZOOMも併用する。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。